



令和 8 年 7 月 7 日

宮大、鹿大、慈恵医大、3大学単位互換協定に基づく学術交流 看護学生交換・交流実習 ～宮崎県 椎葉村実習～

宮崎大学・鹿児島大学・東京慈恵会医科大学の3大学は、明治期の医学・看護の発展に大きく貢献した高木兼寛先生ゆかりの教育機関として、長年にわたり学術交流を続けてきました。

令和4年度からは看護学教育に特化した連携も開始し、令和5年度より単位互換協定に基づく看護学生の交換・交流実習を展開しており、本年度（令和8年度）はその第4回目にあたります。

椎葉村実習の意義と特色

椎葉村での実習には、宮崎大学2名、鹿児島大学2名、東京慈恵会医科大学2名の看護学科4年生、計6名が参加予定です。

参加学生は、事前に椎葉村の地域特性や健康課題について調べ、テーマを設定し、現地では、村役場、医療・福祉施設、教育現場、住民との交流の場を訪問し、自らの問いに向き合います。異なる大学・地域で学んできた仲間との意見交換を通じて、看護観の深化や視野の拡張が期待されます。

また、本年度は「中山間地域における防災と地域のつながり」をテーマの一つとし、災害時における住民同士の支え合いや地域コミュニティの役割について学びます。地域住民との意見交換を通して、中山間地域における防災の課題や強みを理解するとともに、地域の健康と暮らしを支える看護職の役割について考察を深めます。

実習中には、以下のような公開プログラムも予定されています。

7月27日（月）午後：事前学習発表（テーマ：椎葉村の地域特性と学びたいこと）

7月30日（木）午後：学生企画ワークショップ（中山間地域における防災と地域のつながり）

7月31日（金）午前：成果報告プレゼンテーション（学びの共有）

記

実習名：3大学連携看護学交換実習

実習期間：令和8年7月27日（月）～令和8年7月31日（金）

実習場所：宮崎県東臼杵郡椎葉村内

（役場・医療福祉施設・教育機関ほか）

参加学生：宮崎大学2名、鹿児島大学2名、

東京慈恵会医科大学2名（看護学科4年生）

主な内容：・地域特性に関する事前発表

・椎葉村の医療・福祉・教育・産業施設の見学

・住民との交流

・学生企画ワークショップ

・成果発表プレゼンテーション



（参考）昨年令和7年度の実習の様子

問い合わせ先

医学部看護学科 担当 板谷智也

e-mail :

tomoya_itatani@med.miyazaki-u.ac.jp

TEL:0985-85-9814

発信元

企画総務部総務広報課

e-mail : kouhou@miyazaki-u.ac.jp

TEL:0985-58-7114